

平成二十五年二月

道明寺天満宮梅まつり

奉納俳句入賞作品

一般の部

梅賞 車椅子押して見上げる梅白し

藤井寺 森川 久子

評 車椅子を押す人も押される人も

共に仰ぎ見る梅、純白に輝く。

松賞 母の打つ柏手の音梅の花

藤井寺 衛藤 和美

評 老いた母に付き添っての参拝。

小さな拍手の音に、梅が匂う。

竹賞 菅公の御神霊に香る梅花祭

藤井寺 市川 昌枝

評 道真公が大宰府で亡くなられた

日、梅の花を御霊に供える。

佳作 梅の香に青年の押す車椅子

藤井寺 松井まきよ

百度踏むこより持つ手に春の雪

松原 古高 厚子

梅の園一輪づつで春を呼ぶ

藤井寺 武田種子(百二歳)

うすうすと春埃して修羅の舟

大阪 谷口 桂子

冬ごもり解きて日向の梅見かな

藤井寺 広野 和念

梅まつり百度ふむ人黙々と

富田林 野中 藤枝

来る年も梅が見たいと母が言う

藤井寺 松尾 佳美

鶏鳴かぬやさしき里や梅日和

藤井寺 渡邊 保

その中に宮司の名あり盆梅展

大阪 榎谷 貞子

天神の恵みを享けて育つ梅

羽曳野 丹生美恵子

子どもの部

梅の花春へみちびく道しるべ

藤井寺 深川 史明

あきかんのかびんにいけるすいせん花

藤井寺 中村 ゆ月

うめのはなさいたらすぐにはるがくる

藤井寺 塚本稀充(七歳)

(評 桃井 克夫)